

H21. (198)

# 精神看護学

第1～12、15～20問の回答はマークシートに、第13～14、21～25問の回答は問題用紙に記入して下さい。

1. 精神疾患の原因について、誤っているものを2つ選んで下さい。
  - a) 身体疾患によって脳が二次的に障害される精神疾患を、症状精神病という。
  - b) 遺伝因子によって病的過程の生じることが確認されたものを、内因性精神障害という。
  - c) 内因性精神障害の発病には、心理社会的要因も関与している。
  - d) 内因性精神障害には、統合失調症、躁うつ病、てんかんが含まれる。
  - e) 外因性精神障害には、器質性精神病と症状精神病が含まれる。
  
2. 主な精神症状について、正しいものを2つ選んで下さい。
  - a) 知覚障害の一種である幻聴は、気分障害には見られない精神症状である。
  - b) 思考途絶は、統合失調症に特有の思考障害である。
  - c) 両価性は統合失調症の患者に多いが、軽い症状は健常者にも見られる。
  - d) 多重人格の患者には、作為体験が見られることが多い。
  - e) 境界性パーソナリティ障害の主な特徴は、誇大性、賞賛への渴望、共感性の欠如である。
  
3. 意識障害と痴呆(認知症)について、誤っているものを2つ選んで下さい。
  - a) 意識障害には、必ず脳の器質的な原因疾患が存在する。
  - b) 傾眠は、比較的重度の意識混濁である。
  - c) 老人の夜間せん妄は、意識混濁に意識変容が加わった複雑な意識障害である。
  - d) 認知症の中核症状は、主に記憶障害と思考障害の組み合わせから生じる。
  - e) アルツハイマー型認知症を発症して間もない患者の多くは、知的な能力の低下をある程度は自覚し悩んでいる。
  
4. 統合失調症の病型と、それぞれの特徴について、正しいものを2つ選んで下さい。
  - a) 発病する年齢が若い方から順に並べると、緊張型、破瓜型(解体型)、妄想型である。
  - b) 薬物療法が比較的有効で改善も早いのは、緊張型である。
  - c) 統合失調症の病型が、相互に移行することはない。
  - d) 陰性症状がもっとも目立たないのは、緊張型である。
  - e) 妄想型が慢性化すると、パーソナリティ障害をきたしやすい。

次頁あり

1  
249